

EMT981 再生系の再構成(4)

1. はじめに

前報(3)で、EMT981 をプレイヤーとして使用することが可能になりましたので、バランス接続にバランスアナログアキュライザーBACU-1000 を加えてみます。

2. EMT981 の設置と試聴方法

EMT981 から 300B アンプまですべてバランス伝送が可能となっていますが、今回 TruPhase の入力端子にバランスアナログアキュライザーBACU-1000 を装着することにより、EMT981→TruPhase および TruPhase→300B アンプの双方にバランスアナログアキュライザーが介在することになります。

EMT981(GMP-777 よりクロック入力)→BACU-1000→TruPhase→
BACU-1000→しなの音蔵 300

今回も前報(3)と同様、下記の音源を使用しました。

ARCHIV POCA-2009/10

J.S.Bach ミサ曲口短調

カール・リヒター指揮ミュンヘンバツハ管弦楽団

SONY SIC1172

ワーグナー 管弦楽集

マリス・ヤンソンス指揮バイエルン放送交響楽団

S&R AVCL-25005

J.S.Bach あなたがそばにいたら他

森麻季 (ソプラノ)

山岸茂人 (ピアノ)

JVC PR27952XRCD

ハリー・ベラフォンテ カーネギーホール

3. EMT981 の試聴結果

TruPhase の入力端子に BACU-1000 を装着するとともに BACU-1000 に VRA-7 を貼りつけています。



ミサ曲口短調では、BACU-1000 の介在なしに比べて、古楽器の質感が向上し、アルト、ソプラノ、テノールの声に張りが出て、合唱の分離もよくなります。

ワーグナーでは、BACU-1000 の介在なしに比べて、オーケストラの各パートの分離が向上し、迫力が出てきます。

森麻季では、BACU-1000 の介在なしに比べて、一層声に張りが出て、歌唱の細かいニュアンスも聴き取れます。

ハリー・ベラフォンテでは、BACU-1000 の介在なしに比べて、ベラフォンテの歌唱のニュアンスが捉えられやすくなる上に、ベースの弾み具合やカーネギーホールの客席の騒めきもリアルです。

4. まとめ

前報(3)に加えて、EMT981 から TruPhase へのバランス接続におけるバランスアナログアキュライザー-BACU-1000 の効果を認めました。

以上